

4月9日にメールでお伝えした「家庭学習の手引き」に基づき、今年度の学年方針と皆様へのお願いをまとめました。

1. 目指すのは「自立し自律した学習者」

今年度は、一人ひとりの学習状況をより丁寧に把握し、個に応じた指導・支援を行うことに注力いたします。子どもたちが自らの学習状況を客観的に捉え（メタ認知）、計画的に学習を進められるようになることを目指します。

特に6年生以上では、授業の理解度に応じた個別課題の提示など、きめ細かなサポートをさらに充実させていく考えです。

2. 「週案」を通じた家庭との連携

今年度は、家庭学習を支援する具体的なツールとして、一週間のスケジュール表である「週案」を活用します。

子どもたちには、自分の学びを客観的に捉える力を養うため、毎日、家庭学習の振り返りを記録するよう指導しています。週の初めに「一週間のめあて」を立て、土日も含めて学習記録をつけることで、一週間を計画的に過ごす力を育ていきたいと考えております。

また、保護者の皆様には、一週間の締めくくりにお子様の学習状況を確認していただき、持ち帰った週案への「サイン（または受領印）」のご協力をお願いいたします。教師へ伝えたいことやご家庭での様子があれば、サイン欄にメモをお書き添えいただくことも可能です。

保護者の皆様の役割は、子どもたちの環境を整え、努力を認める「サポーター」であると捉えております。まずはお子様が机に向かったこと、振り返りを書いたこと自体を、温かく肯定していただければ幸いです。

何かご不明な点等がありましたら、学年団へお問い合わせください。